

# 観光消費による経済波及効果の「見える化」分析ツールでできること

～あなたも観光振興の効果を説明することができるようになる！～

この一年間で、観光客がこのまちで使ったお金は、  
約▲■億円です！

原材料の仕入れなども含め、地域への  
経済波及効果は約●▲億円です！  
みんなで観光を軸に地域活性化を！！

ほのか市の観光による経済波及効果

対象期間：平成 30 年度  
1. アンケート調査

### 1 観光消費の実態

観光客種別	観光客数 (人)	観光消費額 (円)	観光消費額 (百万円)
観光客総数	455,400人	3,659百万円	
観光消費額			3,659
日帰り客	382,400	6,656	2,545
宿泊客	73,000	15,254	1,114
観光客	394,200	7,663	3,021
観光客	61,200	27,790	1,701
外国人客	0	0	0

### 2 産業の域内循環率

(参考)各産業の1年間の収入(売上)/経済センサスより

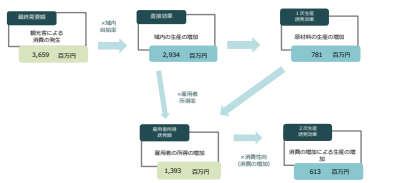
産業	域内循環率	平均28年	収入
農業	83.4%		
林業	24.8%		
漁業	0.0%		
製造業	83.3%		

### 3 経済波及効果

項目	金額 (百万円)				
観光客消費額	4,328				
観光客消費額	1,736				
観光客消費額	227人/年の新規雇用者数				
観光客消費額	55百万円/観光客消費額				
項目	生産誘発額 (百万円)	総付加価値 (百万円)	所得誘発額 (百万円)	雇用誘発額 (人)	税収効果 (百万円)
観光客消費額	2,934	1,736	1,037	212	39
1次波及効果	781	399	194	37	9
2次波及効果	613	369	162	28	7
合計	4,328	2,504	1,393	277	55

4 産業別の観光による経済波及効果

部門分類	観光客消費額	直接効果	1次生産誘発効果	2次生産誘発効果	合計	付加価値誘発額	雇用者所得誘発額
農業	131	108	34	10	153	66	13
林業	0	0	2	1	3	2	1
漁業	357	0	0	0	0	0	0
製造業	0	0	28	14	42	22	8
観光業	465	120	183	104	407	119	47
建設業	0	0	15	0	15	7	5
卸売・小売・修理	0	0	64	28	92	44	17
情報・情報通信	399	399	79	148	627	436	258
サービス業	0	0	58	143	200	155	25
観光・情報通信	1,105	1,105	167	62	1,334	768	404
公務	0	0	0	3	3	2	1
サービス業	1,201	1,201	132	100	1,434	683	613
分類不明	0	0	19	0	20	0	0
合計	3,659	2,934	781	613	4,328	2,504	1,393



北海道経済部観光局「観光」具体化調査支援モデル事業「経済波及効果」見える化ツールの活用による観光振興効果

さらに、■人の雇用、●▲億円の所得を生み、  
税収は■■億円分の効果があります！

# もくじ

1	観光消費による経済波及効果の「見える化」分析ツールでできること .....	2
2	観光消費による経済波及効果の「見える化」分析例 ①名寄市 .....	5
1.	観光消費の規模 .....	5
2.	観光消費の経済波及効果 .....	6
3.	シミュレーション例 .....	7
2	観光消費による経済波及効果の「見える化」分析例 ②羽幌町 .....	11
1.	観光消費の規模 .....	11
2.	観光消費の経済波及効果 .....	12
3.	シミュレーション例 .....	13
2	観光消費による経済波及効果の「見える化」分析例 ③余市町 .....	15
1.	観光消費の規模 .....	15
2.	観光消費の経済波及効果 .....	16
3.	シミュレーション例 .....	17

# 1 観光消費による経済波及効果の「見える化」分析ツールでできること

- ① 観光客が地域で使った年間の消費額がわかる
  - ② 観光客の消費に対し、どのくらい地域の製品を提供できているかわかる
  - ③ 観光客の消費が地域にどのような効果をもたらしているか産業別にわかる（経済波及効果）
  - ④ 観光客の消費によって生み出される雇用、所得、税収がわかる
  - ⑤ ③④のシミュレーションを行い、これから実施する施策の効果を想定できる
- ※アンケート調査等により、地域の観光消費の実態を把握する必要があります。

市町村単位  
広域で！

≪観光消費による経済波及効果の「見える化」分析ツール（画面イメージ）≫

**Result**

ほっかい市の観光による経済波及効果 対象期間：平成 30 年度

1. アンケート調査

1 観光消費の実態

観光入込客数	455,400人		
総観光消費額	3,659百万円		
	観光入込客数 (人)	観光消費単価 (円)	総観光消費額 (百万円)
日帰り客	382,400	6,656	2,545
宿泊客	73,000	15,254	1,114
道内客	394,200	7,663	3,021
道外客	61,200	27,790	1,701
外国人客	0	0	0

2 産業の域内調達率 (参考)各産業の1年間の収入(売上)/経済センサスより

産業	域内調達率	平成28年 収入額
農業	83.4%	
林業	24.8%	
漁業	0.0%	
鉱業	8.3%	
製造業	25.8%	18,807 百万円
建設業	100.0%	
電気・ガス・水道	97.8%	
商業	81.5%	65,588 百万円
金融・保険・不動産	58.4%	
運輸・情報通信	58.0%	
公務	100.0%	
サービス業	37.4%	
分類不明	89.1%	

3 経済波及効果

経済波及効果	4,328百万円発生				
観光GDP	1,736百万円増(上げ)				
雇用者	277人/年の新規雇用者を誘発				
税収	55百万円の税収効果				
	生産誘発額 (百万円)	粗付加価値 (百万円)	所得誘発額 (百万円)	雇用誘発数 (人)	税収効果 (百万円)
直接効果	2,934	1,736	1,037	212	39
1次波及効果	781	399	194	37	9
2次波及効果	613	369	162	28	7
合計	4,328	2,504	1,393	277	55

4 産業別の観光による経済波及効果 (百万円)

部門分類	与性への最終需要額	生産誘発額			合計	粗付加価値誘発額	雇用者所得誘発額
		直接効果	1次生産誘発効果	2次生産誘発効果			
農業	131	109	34	10	153	66	13
林業	0	0	2	1	3	2	1
漁業	357	0	0	0	0	0	0
鉱業	0	0	28	4	42	22	8
製造業	465	120	83	104	407	119	47
建設業	0	0	15	0	15	7	5
電気・ガス・水道	0	0	64	28	92	44	17
商業	399	399	79	148	627	436	258
金融・保険・不動産	0	0	58	143	200	155	25
運輸・情報通信	1,105	1,105	167	62	1,334	768	404
公務	0	0	0	3	3	2	1
サービス業	1,201	1,201	132	100	1,434	883	613
分類不明	0	0	19	0	20	0	0
合計	3,659	2,934	781	613	4,328	2,504	1,393

5 経済波及効果のフローチャート

```

    graph LR
      A[観光客による消費の発生  
3,659 百万円] -- "×域内自給率" --> B[域内の生産の増加  
2,934 百万円]
      B -- "×生産誘発率" --> C[1次生産  
原材料の生産の増加  
781 百万円]
      B -- "×雇用者所得率" --> D[雇用者所得の増加  
1,393 百万円]
      C -- "×消費性向(消費の増加)" --> E[2次生産  
消費の増加による生産の増加  
613 百万円]
  
```

北海道経済部観光局「稼ぐ観光」具体化調査実践モデル事業「経済波及効果「見える化」ツール」  
©北海道経済部観光局

## ① 観光客が地域で使った消費額がわかる

観光入込客数	455,400人		
総観光消費額	3,659百万円		
	観光入込客数 (人)	× 観光消費単価 (円)	= 総観光消費額 (百万円)
日帰り客	382,400	6,656	2,545
宿泊客	73,000	15,254	1,114
道内客	394,200	7,663	3,021
道外客	61,200	27,790	1,701
外国人客	0	0	0

総観光消費額  
= 観光入込客数 × 観光消費単価

アンケート対象に合わせて属性を自由に設定可能 例：外国人の国・地域別

② 観光客の消費に対し、どのくらい地域の産品を提供できているかわかる

	域内調達率
農業	83.4 %
林業	24.8 %
漁業	0.0 %
鉱業	8.3 %
製造業	25.8 %
建設業	100.0 %
電気・ガス・水道	97.8 %
商業	81.5 %
金融・保険・不動産	58.4 %
運輸・情報通信	58.0 %
公務	100.0 %
サービス業	37.4 %
分類不明	89.1 %

・域内調達率とは、地域で提供している商品やサービスがどのくらい地域内で生産されているものを示す割合です。ここでは、観光客の消費に対し、どのくらい地域内で生産されたサービス・商品を提供できているかを示す割合と考えます。

観光客が地域内で消費する項目によっては、100%地域内で提供していると考えられるサービス（商業、サービス業、運輸業）があります。該当する産業を選択することで分析結果に依らず、最終需要額と直接効果の間での域内調達率を100%として推計することができます。（参照：操作説明書 P22）

③ 観光客の消費が地域にどのような効果をもたらしているか産業別にわかる（経済波及効果）

経済波及効果

部門分類	最終需要額	生産誘発額				粗付加価値誘発額	雇用者所得誘発額
		直接効果	1次生産誘発効果	2次生産誘発効果	合計		
農業	131	109	34	10	153	66	13
林業	0	0	2	1	3	2	1
漁業	357	0	0	0	0	0	0
鉱業	0	0	28	14	42	22	8
製造業	465	120	183	104	407	119	47
建設業	0	0	15	0	15	7	5
電気・ガス・水道	0	0	64	28	92	44	17
商業	399	399	79	148	627	436	258
金融・保険・不動産	0	0	58	143	200	155	25
運輸・情報通信	1,105	1,105	167	62	1,334	768	404
公務	0	0	0	3	3	2	1
サービス業	1,201	1,201	132	100	1,434	883	613
分類不明	0	0	19	0	20	0	0
合計	3,659	2,934	781	613	4,328	2,504	1,393

・産業別に各項目の分析が可能です。  
・観光施策の効果が地域内の各産業にどのような効果をもたらしているかを数字で示し、関係者に説明することに活用できます。

経済波及効果 ～直接効果＋1次生産誘発効果＋2次生産誘発効果  
 最終需要額 ～観光客が地域で消費した金額  
 直接効果 ～最終需要額のうち、地域内で生産された商品・サービスの金額 ー実際に地域内に落ちるお金  
 1次生産誘発効果～直接効果による生産のために必要な原材料・サービスのうち、地域内で調達した分の金額  
 ー仕入れによって地域内に落ちるお金  
 2次生産誘発効果～直接効果や1次生産誘発効果によって、各産業で売上が発生し、雇用者には所得が生まれ、この雇用者の所得増によって新たな需要が発生し、地域内の各産業で生産が誘発された金額  
 粗付加価値誘発額～直接効果や1次・2次生産誘発効果による雇用者の所得や企業の利潤等  
 雇用者所得誘発額～直接効果や1次・2次生産誘発効果による雇用者に生まれた所得額

④ 観光客の消費によって生み出される雇用、所得、税収がわかる

経済波及効果	4,328百万円発生				
観光GDP	1,736百万円押し上げ				
雇用者	277人/年の新規雇用者を誘発				
税収	55百万円の税収効果				
	生産誘発額 (百万円)	粗付加価値 (百万円)	所得誘発額 (百万円)	雇用誘発数 (人)	税収効果 (百万円)
直接効果	2,934	1,736	1,037	212	39
1次波及効果	781	399	194	37	9
2次波及効果	613	369	162	28	7
合計	4,328	2,504	1,393	277	55

①～③のまとめ

※観光消費による経済波及効果の「見える化」分析の推計方法の詳細は、操作説明書 P28～をご参照ください。

※本ツールによる分析は、北海道の産業連関表をベースに、地域の産業連関表を作成していることから、地域の傾向を掴むための推計であることに留意してください。

## 2 観光消費による経済波及効果の「見える化」分析例 ①名寄市

※本事業におけるモデル地域（名寄市）の分析例です。

### 1. 観光消費の規模

年間の推計総観光消費額は  
3,624 百万円

観光入込客数		446,200人	
総観光消費額		3,624百万円	
	観光入込客数（人）	観光消費単価（円）	総観光消費額（百万円）
日帰り客	370,100	6,656	2,463
宿泊客	76,100	15,254	1,161
道内客	375,000	7,663	2,874
道外客	71,200	27,790	1,979
外			0

⇒入込客数の多い層に対し観光消費単価を伸ばす戦略  
⇒観光消費単価が高い層に対し、入込客数を伸ばす戦略 が考えられる

### ＜地域の各産業の年間売上との比較＞

経済センサス 主な産業別の売上（収入） -平成 28 年・名寄市-	
農林漁業	2,067 百万円
製造業	18,807 百万円
卸売業，小売業	65,588 百万円
不動産業，物品賃貸業	2,312 百万円
宿泊業，飲食サービス業	3,802 百万円
サービス業（政治・経済・文化団体，宗教を除く）	4,515 百万円
生活関連サービス業，娯楽業	8,595 百万円
医療，福祉	7,783 百万円

名寄市の平成 28 年度経済センサス活動調査の主な産業別の売上と比較すると、農林水産業や宿泊業、飲食サービス業等に匹敵する規模である。



## 2. 観光消費の経済波及効果

(百万円)

部門分類	与件データ 最終需要額	生産誘発額			粗付加価値 誘発額	雇用者所得 誘発額	
		直接効果	1次生産 誘発効果	2次生産 誘発効果			合計
農業	128	126	37	10	172	74	15
林業	0	0	1	1	2	1	0
漁業	352	17	5	3	25	13	5
鉱業	0	0	23	12	35	18	7
③ 製造業	456	82	147	84	314	92	36
建設業	0	0	15	0	15	7	5
電気・ガス・水道	0	0	58	25	83	40	15
商業	392	392	76	144	612	426	252
金融・保険・不動産	0	0	50	121	171	133	21
② 運輸・情報通信	1,085	1,085	129	50	1,265	728	383
公務	0	0	0	3	3	2	1
① サービス業	1,212	1,212	115	87	1,413	871	604
分類不明	0	0	18	1	18	0	0
合計	3,624	2,913	674	540	4,126	2,404	1,346

	域内調達率
農業	98.4 %
林業	51.7 %
漁業	4.7 %
鉱業	7.9 %
製造業	18.0 %
建設業	100.0 %
電気・ガス・水道	85.8 %
商業	81.3 %
金融・保険・不動産	49.7 %
運輸・情報通信	42.5 %
公務	100.0 %
サービス業	31.8 %
分類不明	79.8 %

観光客の消費額が高いのは、宿泊や飲食を含むサービス業、移動交通手段の運輸業、おみやげ品などの製造業。これらの域内調達率は、50%未満となっている。

経済波及効果	4,126百万円発生				
観光GDP	1,731百万円押し上げ				
雇用者	266人/年の新規雇用者を誘発				
税収	31百万円の税収効果				
	生産誘発額 (百万円)	粗付加価値 (百万円)	所得誘発額 (百万円)	雇用誘発数 (人)	税収効果 (百万円)
直接効果	2,913	1,731	1,032	211	23
1次波及効果	674	346	167	31	4
2次波及効果	540	327	146	24	4
合計	4,126	2,404	1,346	266	31

観光客の地域内での消費 3,624 百万円に対し、直接効果（＝地域に直接落ちるお金）は 2,913 百万円（0.8 倍）、原材料の仕入れや雇用者所得による消費を含む地域の経済波及効果は 4,126 百万円（1.1 倍）、直接効果（＝地域に直接落ちるお金）に対する、地域の経済波及効果は 1.4 倍。

### 3. シミュレーション例

(1) 名寄市には、道北の美味しいものなどを取り揃える「道の駅もち米の里☆なよろ」があることから、買い物費に着目して地域の経済効果を高める施策を検討する。

《属性別の内訳》

単位：円	日帰り客	宿泊客	道内客	道外客
交通費	2,986	3,645	2,374	11,764
宿泊費	161	5,063	1,236	4,143
飲食費	744	3,060	1,351	2,370
買い物費	2,247	2,602	2,263	6,857
その他（入場料など）	517	884	439	2,657
合計	6,656	15,254	7,663	27,790

↓

観光客の買い物需要を喚起するとし、買い物関係の消費単価を 1.5 倍にする

↓

単位：円	日帰り客	宿泊客	道内客	道外客
交通費	2,986	3,645	2,374	11,764
宿泊費	161	5,063	1,236	4,143
飲食費	744	3,060	1,351	2,370
買い物費	3,371	3,902	3,394	10,285
その他（入場料など）	517	884	439	2,657
合計	7,780	16,554	8,794	31,219

#### ◆シミュレーション結果（1）-①：観光消費の規模

観光入込客数	446,200人		
総観光消費額	4,139百万円		
	観光入込客数（人）	観光消費単価（円）	総観光消費額（百万円）
日帰り客	370,100	7,780	2,879
宿泊客	76,100	16,554	1,260
道内客	375,000	8,794	3,298
道外客	71,200	31,219	2,223
外国人客	0	0	0

総観光消費額は 3,624 百万円から 4,139 百万円（+515 百万円）となった。



◆シミュレーション結果（１）-②：経済波及効果

経済波及効果	4,490百万円発生				
観光GDP	1,881百万円押し上げ				
雇用者	280人／年の新規雇用者を誘発				
税収	33百万円の税収効果				
	生産誘発額 (百万円)	粗付加価値 (百万円)	所得誘発額 (百万円)	雇用誘発数 (人)	税収効果 (百万円)
直接効果	3,168	1,881	1,108	220	25
1次波及効果	742	380	182	34	5
2次波及効果	580	352	157	26	4
合計	4,490	2,612	1,446	280	33

(百万円)


部門分類	与件への 最終需要 額	生産誘発額			粗付加価値 誘発額	雇用者所得 誘発額	
		直接効果	1次生産 誘発効果	2次生産 誘発効果			合計
農業	191	188	50	10	249	108	21
林業	0	0	1	1	2	1	0
漁業	528	25	6	3	34	18	7
鉱業	0	0	25	13	38	20	7
製造業	568	102	162	91	355	104	41
建設業	0	0	16	0	16	7	6
電気・ガス・水道	0	0	63	27	90	43	17
商業	541	541	84	155	779	542	321
金融・保険・不動産	0	0	56	130	186	144	23
運輸・情報通信	1,100	1,100	137	54	1,291	743	391
公務	0	0	0	3	3	2	1
サービス業	1,212	1,212	123	93	1,428	880	611
分類不明	0	0	20	1	20	0	0
合計	4,139	3,168	742	580	4,490	2,612	1,446

	域内調達率
農業	98.4 %
林業	51.7 %
漁業	4.7 %
鉱業	7.9 %
製造業	18.0 %
建設業	100.0 %
電気・ガス・水道	85.8 %
商業	81.3 %
金融・保険・不動産	49.7 %
運輸・情報通信	42.5 %
公務	100.0 %
サービス業	31.8 %
分類不明	79.8 %

総観光消費額は+515百万円となったが、直接効果（＝地域に直接落ちるお金）は+255百万円、地域への経済波及効果は+364百万円となった。観光客の消費単価を高める施策を実施したとしても、観光消費の効果が地域外へ流出する可能性がある。

よって、おみやげ品等を製造する製造業の域内調達率を高める施策を検討・シミュレーションしてみることとする。

(2) 名寄市には、日本一の生産量を誇る「もち米」や大きな寒暖差を活かした甘みの詰まった「アスパラ」・「ハウレンソウ」などがあることから、地域の産品を活かしたおみやげ品を開発するなど、地域の産品を積極的に活用し、提供する施策を検討する。

	域内調達率		域内調達率	
農業	98.4 %	 (イメージ) おみやげなどの 商品の半分程度 を域内の産品 にすることを 目指す	農業	98.4 %
林業	51.7 %		林業	51.7 %
漁業	4.7 %		漁業	4.7 %
鉱業	7.9 %		鉱業	7.9 %
<b>製造業</b>	<b>18.0 %</b>		<b>製造業</b>	<b>50.0 %</b>
建設業	100.0 %		建設業	100.0 %
電気・ガス・水道	85.8 %		電気・ガス・水道	85.8 %
商業	81.3 %		商業	81.3 %
金融・保険・不動産	49.7 %		金融・保険・不動産	49.7 %
運輸・情報通信	42.5 %		運輸・情報通信	42.5 %
公務	100.0 %		公務	100.0 %
サービス業	31.8 %		サービス業	31.8 %
分類不明	79.8 %		分類不明	79.8 %

◆シミュレーション結果 (2) -①：経済波及効果

経済波及効果	4,986百万円発生				
観光GDP	1,934百万円押し上げ				
雇用者	297人/年の新規雇用者を誘発				
税収	36百万円の税収効果				
	生産誘発額 (百万円)	粗付加価値 (百万円)	所得誘発額 (百万円)	雇用誘発数 (人)	税収効果 (百万円)
直接効果	3,349	1,934	1,129	226	26
1次波及効果	958	461	216	42	6
2次波及効果	679	392	174	30	5
合計	4,986	2,787	1,519	297	36

(百万円)

部門分類	与件データ 最終需要額	生産誘発額				粗付加価値 誘発額	雇用者所得 誘発額
		直接効果	1次生産 誘発効果	2次生産 誘発効果	合計		
農業	191	188	71	11	271	117	23
林業	0	0	3	1	4	2	1
漁業	528	25	14	6	45	24	9
鉱業	0	0	56	24	80	41	15
製造業	568	386	386	184	955	280	111
建設業	0	0	17	0	17	8	6
電気・ガス・水道	0	0	69	29	98	47	18
商業	541	541	99	166	805	560	332
金融・保険・不動産	0	0	59	139	198	154	25
運輸・情報通信	1,100	1,100	149	60	1,309	754	397
公務	0	0	0	3	3	2	1
サービス業	1,212	1,212	138	103	1,453	895	621
分類不明	0	0	20	1	21	0	0
合計	4,139	3,452	1,080	728	5,260	2,884	1,559

加工食品やおみやげ品などの製造業の域内調達率を50%に上げると、経済波及効果合計が現状に比べ+860百万円上昇し、観光消費の伸びに対し1.7倍の効果となった。

観光振興による地域経済の活性化のためには、観光消費額の増加に取り組むことに加え、提供している商品・サービスになるべく地元産品を活用することを呼びかけ、域内調達を意識した施策を実施することで観光施策の地域経済への効果が高まると考えられる。

《分析の基礎とした調査概要》

(1) 調査期間：平成 30 年 7 月～平成 31 年 2 月

(2) 場 所：道の駅もち米の里☆なよろ、なよろ温泉サンピラー、名寄ピヤシリスキー場

(3) 獲得票数：451 票

## 2 観光消費による経済波及効果の「見える化」分析例 ②羽幌町

※本事業におけるモデル地域（羽幌町）の分析例です。

### 1. 観光消費の規模

観光入込客数	85,600人		
総観光消費額	1,803百万円		
	観光入込客数（人）	観光消費単価（円）	総観光消費額（百万円）
日帰り客	43,200	13,438	581
宿泊客	42,400	28,827	1,222
道内客	80,300	20,663	1,659
道外客	5,300	42,356	224
外			0

年間の推計総観光消費額は  
1,803 百万円

⇒道内客の宿泊客を引き続き伸ばしていく戦略  
⇒道外客の新規獲得をしていく戦略 が考えられる

### ＜地域の各産業の年間売上との比較＞

経済センサス 主な産業別の売上（収入） -平成 28 年・羽幌町-	
農林漁業	1,899 百万円
製造業	4,403 百万円
卸売業・小売業	12,518 百万円
不動産業・物品賃貸業	378 百万円
宿泊業・飲食サービス業	981 百万円
生活関連サービス業・娯楽業	237 百万円
医療、福祉	1,291 百万円
農林漁業	1,899 百万円

羽幌町の平成 28 年度経済センサス活動調査の主な産業別の売上と比較すると、製造業、卸売・小売業を除くほとんどの産業の売上に匹敵する規模である。

## 2. 観光消費の経済波及効果

(百万円)

部門分類	与件データ 最終需要額	生産誘発額			粗付加価値 誘発額	雇用者所得 誘発額	
		直接効果	1次生産 誘発効果	2次生産 誘発効果			合計
農業	48	35	15	4	54	24	5
林業	0	0	1	0	1	1	0
漁業	77	50	4	1	55	30	11
鉱業	0	0	12	6	18	9	3
② 製造業	517	90	74	41	205	60	24
建設業	0	0	6	0	6	3	2
電気・ガス・水道	0	0	31	13	44	21	8
④ 商業	205	205	40	63	308	214	127
金融・保険・不動産	0	0	19	48	67	52	8
③ 運輸・情報通信	232	232	43	23	298	171	90
公務	0	0	0	1	1	1	0
① サービス業	724	724	62	51	838	517	359
分類不明	0	0	5	1	6	3	0
合計	1,803	1,336	313	253	1,902	1,105	638

	域内調達率
農業	73.7 %
林業	54.7 %
漁業	65.0 %
鉱業	0.0 %
製造業	17.4 %
建設業	100.0 %
電気・ガス・水道	99.2 %
商業	74.9 %
金融・保険・不動産	40.0 %
運輸・情報通信	37.9 %
公務	100.0 %
サービス業	46.3 %
分類不明	50.0 %

観光客の消費額が高いのは、宿泊や飲食を含むサービス業、おみやげ品などの製造業、移動交通手段の運輸業。これらの域内調達率は、50%未満となっている。

経済波及効果	1,902百万円発生				
観光GDP	791百万円押し上げ				
雇用者	118人/年の新規雇用者を誘発				
税収	18百万円の税収効果				
	生産誘発額 (百万円)	粗付加価値 (百万円)	所得誘発額 (百万円)	雇用誘発数 (人)	税収効果 (百万円)
直接効果	1,336	791	488	93	13
1次波及効果	313	163	80	14	3
2次波及効果	253	151	70	11	2
合計	1,902	1,105	638	118	18

観光客の地域内での消費 1,803 百万円に対し、直接効果（＝地域に直接落ちるお金）は 1,336 百万円（0.7 倍）、原材料の仕入れや雇用者所得による消費を含む地域の経済波及効果 1,902 百万円（1.1 倍）、直接効果（＝地域に直接落ちるお金）に対する、地域の経済波及効果は 1.4 倍。

### 3. シミュレーション例

(1) 羽幌町は現在、日帰り客、宿泊客ともに同程度来ている。オロロンラインの中間に位置し、北海道周遊などの立ち寄り機会が多いため、日帰り客を増やす施策か、宿泊地の特徴を活かし宿泊客を増やす施策かどちらに軸を置くべきか検討する。

宿泊客を増やす施策とどちらが効果的か比較・検証するため、日帰り客と宿泊客の総観光消費額が同じになるよう、日帰り客の観光入込客数を2.1倍し、経済波及効果を比較する。

#### ◆シミュレーション結果

観光入込客数	133,336人		
総観光消費額	2,444百万円		
	観光入込客数 (人)	観光消費単価 (円)	総観光消費額 (百万円)
日帰り客	90,936	13,438	1,222
宿泊客	42,400	28,827	1,222
道内客	80,300	20,663	1,659
道外客	5,300	42,356	224
外国人客	0	0	0

比較する

#### ≪属性別・産業別の経済波及効果≫

##### ●日帰り客

部門分類	与件データ 最終需要額	生産誘発額				租付加価値 誘発額	雇用者所得 誘発額
		直接効果	1次生産 誘発効果	2次生産 誘発効果	合計		
農業	15	11	9	2	23	10	2
林業	0	0	1	0	1	0	0
漁業	60	39	3	0	43	23	9
鉱業	0	0	6	3	10	5	2
製造業	595	104	40	2	164	48	19
建設業	0	0	3	0	3	1	1
電気・ガス・水道	0	0	16	6	23	11	4
商業	203	203	20	3	254	177	105
金融・保険・不動産	0	0	11	24	35	27	4
運輸・情報通信	110	110	22	11	144	83	44
公務	0	0	0	1	1	0	0
サービス業	239	239	31	25	296	182	127
分類不明	0	0	3	0	3	2	0
合計	1,222	706	167	12	998	569	316

##### ●宿泊客

部門分類	与件データ 最終需要額	生産誘発額				租付加価値 誘発額	雇用者所得 誘発額
		直接効果	1次生産 誘発効果	2次生産 誘発効果	合計		
農業	40	30	10	0	44	19	4
林業	0	0	0	0	1	0	0
漁業	48	31	2	1	34	19	7
鉱業	0	0	9	5	14	7	3
製造業	234	41	55	31	127	37	15
建設業	0	0	5	0	5	2	2
電気・ガス・水道	0	0	24	10	34	16	6
商業	109	109	30	48	187	130	77
金融・保険・不動産	0	0	14	37	50	39	6
運輸・情報通信	180	180	32	17	229	132	69
公務	0	0	0	1	1	1	0
サービス業	611	611	48	39	698	430	299
分類不明	0	0	4	1	5	2	0
合計	1,222	1,001	234	193	1,428	834	488

年間の総観光消費額は同じでも、消費傾向の違いによって経済波及効果に大きな違いが出る。日帰り客増で効果が期待できるのは漁業、おみやげ品などの製造業、小売店などの商業であり、宿泊客増で効果が期待できるのは、農業、運輸、飲食店やホテルなどのサービス業となった。経済波及効果の合計にも大きな差がみられることから、観光振興による地域経済の活性化のためには、宿泊客の増加を目指す施策を軸とすることが望ましい。ターゲットの消費動向に合致する関係者と連携しながら宿泊客増・日帰り客増に向けた施策を構築することが重要。

《分析の基礎とした調査概要》

(1) 調査期間：平成 30 年 7 月～平成 31 年 2 月

(2) 場 所：道の駅、バラ園、はぼろ温泉サンセットプラザ、羽幌フェリー乗り場、天売フェリー乗り場、焼尻フェリー乗り場

(3) 獲得票数：620 票



## 2 観光消費による経済波及効果の「見える化」分析例 ③余市町

※本事業におけるモデル地域（余市町）の分析例です。

### 1. 観光消費の規模

観光入込客数		1,163,600人		年間の推計総観光消費額は 9,676 百万円	
総観光消費額		9,676百万円			
	観光入込客数 (人)	観光消費単価 (円)		総観光消費額 (百万円)	
日帰り客	1,140,300	8,239	1.5 倍	9,395	33 倍
宿泊客	23,300	12,062		281	
道内客	727,900	3,849	3.2 倍	2,802	1.9 倍
道外客	435,700	12,227		5,327	
外				0	

⇒日帰り客の観光消費単価を伸ばしていく戦略  
⇒道外客を伸ばしていく戦略 が考えられる

### ＜地域の各産業の年間売上との比較＞

経済センサス 主な産業別の売上（収入） -平成 28 年・余市町-	
農林漁業	738 百万円
製造業	11,664 百万円
卸売業，小売業	35,765 百万円
医療，福祉	8,386 百万円
生活関連サービス業，娯楽業	3,888 百万円
宿泊業，飲食サービス業	1,926 百万円
不動産業，物品賃貸業	1,077 百万円

余市町の平成 28 年度経済センサス活動調査の主な産業別の売上と比較すると、卸売・小売業を除くほとんどの産業の売上に匹敵する規模である。

## 2. 観光消費の経済波及効果

(百万円)

部門分類	与件への 最終需要 額	生産誘発額				粗付加価値 誘発額	雇用者所得 誘発額
		直接効果	1次生産 誘発効果	2次生産 誘発効果	合計		
農業	229	214	82	20	316	137	27
林業	0	0	4	1	5	3	1
⑤ 漁業	923	597	21	4	622	336	125
鉱業	0	0	75	25	100	52	19
① 製造業	3,499	457	316	175	948	278	110
建設業	0	0	29	0	29	13	10
電気・ガス・水道	0	0	110	50	160	77	29
④ 商業	1,583	1,583	176	293	2,052	1,427	846
金融・保険・不動産	0	0	124	288	412	319	51
③ 運輸・情報通信	1,669	1,669	153	81	1,902	1,095	577
公務	0	0	0	5	5	4	2
② サービス業	1,773	1,773	379	306	2,457	1,514	1,051
分類不明	0	0	43	1	44	6	0
合計	9,676	6,293	1,511	1,250	9,053	5,260	2,849

	域内調達率
農業	93.3 %
林業	91.3 %
漁業	64.8 %
鉱業	8.7 %
製造業	13.1 %
建設業	100.0 %
電気・ガス・水道	74.8 %
商業	78.9 %
金融・保険・不動産	58.0 %
運輸・情報通信	19.6 %
公務	100.0 %
サービス業	70.8 %
分類不明	81.8 %

観光客の消費額が高いのは、おみやげ品などの製造業、宿泊や飲食などのサービス業、移動交通手段の運輸業で、商業、漁業が続く。運輸業、製造業の域内調達率が低い一方、サービス業、商業、漁業は高い。

経済波及効果	9,053百万円発生				
観光GDP	3,703百万円押し上げ				
雇用者	566人/年の新規雇用者を誘発				
税金	70百万円の税金効果				
	生産誘発額 (百万円)	粗付加価値 (百万円)	所得誘発額 (百万円)	雇用誘発数 (人)	税金効果 (百万円)
直接効果	6,293	3,703	2,108	405	51
1次波及効果	1,511	792	390	89	11
2次波及効果	1,250	765	351	72	9
合計	9,053	5,260	2,849	566	70

観光客の地域内での消費 9,676 百万円に対し、直接効果（＝地域に直接落ちるお金）は 6,293 百万円（0.7 倍）、原材料の仕入れや雇用者所得による消費を含む地域の経済波及効果 9,053 百万円（0.9 倍）、直接効果（＝地域に直接落ちるお金）に対する、地域の経済波及効果は 1.4 倍。

### 3. シミュレーション例

(1) 余市町は、日帰り客が多く、おみやげとしての工芸品や加工食品、お酒、直売所の農産品などの買い物需要が高い地域。人口の多い札幌市の近隣である一方、現状では道外客も多く訪れていることから、道内・道外どちらを中心のターゲットとして設定するか比較検討する。

道内客と道外客の総観光消費額が同じになるよう観光入込客数をシミュレーションし、道内客・道外客の経済波及効果を比較する。

観光入込客数	1,819,696人		
総観光消費額	10,655百万円		
	観光入込客数 (人)	観光消費単価 (円)	総観光消費額 (百万円)
日帰り客	0	8,239	0
宿泊客	0	12,062	0
道内客	1,383,996	3,849	5,327
道外客	435,700	12,227	5,327
外国人客	0	0	0

#### 《居住地域別・産業別の経済波及効果》

##### ●道内客

部門分類	与件需要額	生産誘発額			租付加価値誘発額	雇用者所得誘発額	
		直接効果	1次生産誘発効果	2次生産誘発効果			
農業	285	266	177	16	459	198	39
林業	0	0	10	1	11	7	3
漁業	330	214	52	5	270	146	54
鉱業	0	0	158	40	198	102	38
製造業	1,650	1,650	962	307	2,920	855	339
建設業	0	0	21	0	21	9	7
電気・ガス・水道	0	0	98	39	137	66	25
商業	747	747	181	224	1,151	801	475
金融・保険・不動産	0	0	83	219	302	234	37
運輸・情報通信	875	875	140	68	1,084	624	328
公務	0	0	0	4	4	3	2
サービス業	1,441	1,441	282	234	1,957	1,206	837
分類不明	0	0	28	1	29	4	0
合計	5,327	5,192	2,193	1,159	8,544	4,255	2,185

##### ●宿泊客

部門分類	与件需要額	生産誘発額			租付加価値誘発額	雇用者所得誘発額	
		直接効果	1次生産誘発効果	2次生産誘発効果			
農業	161	150	173	15	339	146	29
林業	0	0	12	1	13	8	3
漁業	518	335	59	5	399	216	80
鉱業	0	0	165	38	203	105	39
製造業	1,927	1,927	997	291	3,215	941	374
建設業	0	0	20	0	20	9	7
電気・ガス・水道	0	0	95	37	132	63	24
商業	886	886	180	212	1,278	889	527
金融・保険・不動産	0	0	83	207	290	224	36
運輸・情報通信	853	853	140	64	1,057	609	321
公務	0	0	0	4	4	3	1
サービス業	982	982	267	222	1,471	906	629
分類不明	0	0	28	1	29	4	0
合計	5,327	5,134	2,218	1,097	8,449	4,123	2,069

年間の総観光消費額は同じでも、消費傾向の違いによって経済波及効果に違いが出る。道内客増で効果が期待できるのは直売所や果物狩り等での農業、飲食店などのサービス業である。道外客増で効果が期待できるのは漁業、おみやげ品等の製造業、小売店などの商業である。

経済波及効果の合計は同程度であることから、観光振興による地域経済の活性化のためには、いずれのターゲットも効果が見込まれ、プロモーションの機会に合わせ、ターゲットの消費動向に合致する関係者と連携し、施策を構築することが重要。

おみやげ品等の製造業域内調達率が低いので、わかりやすく 100%とする

(百万円)

部門分類	与件データ 最終需要額	生産誘発額			粗付加価値 誘発額	雇用者所得 誘発額	
		直接効果	1次生産 誘発効果	2次生産 誘発効果			合計
農業	229	214	303	28	545	236	46
林業	0	0	21	2	23	14	5
漁業	923	597	108	9	714	385	143
鉱業	0	0	299	69	368	190	70
製造業	3,499	3,499	1,803	530	5,833	1,708	678
建設業	0	0	36	0	36	17	13
電気・ガス・水道	0	0	172	68	240	115	44
商業	1,583	1,583	323	386	2,293	1,595	945
金融・保険・不動産	0	0	151	378	529	410	65
運輸・情報通信	1,669	1,669	257	117	2,043	1,176	619
公務	0	0	0	7	7	5	3
サービス業	1,773	1,773	489	405	2,666	1,643	1,141
分類不明	0	0	51	2	53	7	1
合計	9,676	9,335	4,013	2,001	15,349	7,500	3,773

	域内調達率
農業	93.3 %
林業	91.3 %
漁業	64.8 %
鉱業	8.7 %
製造業	100.0 %
建設業	100.0 %
電気・ガス・水道	74.8 %
商業	78.9 %
金融・保険・不動産	58.0 %
運輸・情報通信	19.6 %
公務	100.0 %
サービス業	70.8 %
分類不明	81.8 %

経済波及効果	15,349百万円発生				
観光GDP	4,594百万円押し上げ				
雇用者	947人/年の新規雇用者を誘発				
税収	105百万円の税収効果				
	生産誘発額 (百万円)	粗付加価値 (百万円)	所得誘発額 (百万円)	雇用誘発数 (人)	税収効果 (百万円)
直接効果	9,335	4,594	2,462	604	66
1次波及効果	4,013	1,781	802	227	25
2次波及効果	2,001	1,125	509	116	14
合計	15,349	7,500	3,773	947	105

加工食品やおみやげ等をつくる製造業の域内調達率を 100%にすると、製造業の経済波及効果の増加に加え、農業や漁業など一次産業や商業、サービス業への波及もみられ、合計で+6,296 百万円と大きな効果がある。

観光客の消費に対する直接効果は 0.96 倍、地域の経済波及効果は 1.6 倍となり、加工食品やおみやげ品などの製造業において、地元の産品を活用すること、提供することを呼びかけ、域内調達を意識した施策を実行することにより、地域がより一体となる。

《分析の基礎とした調査概要》

- (1) 調査期間：平成 30 年 7 月～平成 31 年 2 月
- (2) 場 所：道の駅スペースアップルよいち、余市駅エルラプラザ
- (3) 獲得票数：422 票

データに基づき分析することで、施策構築のヒント・気づきがたくさんあります！

- 施策の効果がわかる
- ターゲットを明確にすることができる
- 効果を高めるために何に取りくめば良いかわかる
- 誰と連携して施策を実行すれば効果的かわかる

観光消費による経済波及効果の「見える化」を実施してみましょう。